



*地図上の番号はP 2～5の番号と対応。
【問合せ】=本庁都市計画課景観グループ ☎(23)5111(内線3423)

景観重要樹木の発掘を



薩摩川内市景観審議会委員
村田 修一さん

本市には、たくさん公園と街路樹植栽の緑地があり、日々美観維持されています。樹木の葉は大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を大気中に放出しており、みどりを増やすことは二酸化炭素を減らすことにつながります。

また、森林を守り育て、身の回りのみどりを整備することは、潤いのある生活環境の保全と地球温暖化防止に重要な役割を果たしています。樹木は、四季それぞれに花を開花させ、新緑や紅葉を楽しむことができ、緑化や緑地の美観維持は本市の景観形成の一因を担っているのです。

【景観重要樹木】

本市の市木はクロガネモチ、市花はカ

ノコギリです。その他市内各地域にはアジサイ、ツツジ類、ウメ、イスノキ、ヤブツバキ、クスノキなど、さまざまな大きさの樹木が植栽され美しい景観を造り出しています。また、東郷町南瀬地区には、「南瀬の夫婦イチョウ」が景観重要樹木として既に指定されています。

これからも地区コミュニティ協議会を中心に地区の景観樹木を発掘し、本市の誇る「景観重要樹木」として、地域住民の皆さんと協力し、潤いのある景観づくりを共に進めてまいりたいと思います。

景観とまちあるき

ウォッチング



景観整備機構
まちあるきウォッチング部会
会長 黒田 芳明さん

鹿児島県造園建設業協会と鹿児島県建築士会は、市から「景観整備機構」として指定されており、景観に関する事業を行う取り組みを行っています。昨年から2つの会が合同で、子どもたちに景観を考えてもらう契機をつくろうと考え、「まちあるきウォッチング」を開催していま

第1回目は新田神社・可愛山陵を中心に開催しました。新田神社では御神職、可愛山陵では陵守長からそれぞれ説明をいただきました。整備機構スタッフからは「クスノキなど可愛山陵に自生する樹木に関する説明を行いました。子どもたちが普段聞くことのできない説明内容も多く、景観と歴史にふれるウォッチングとなりました。

第2回目は藤本滝・岩下棚田をメインに開催し、藤本地区コミュニティ協議会会長から要所のご説明をいただきました。整備機構スタッフからは樹木やその利用に関する説明や、古来からの方位に関する説明などを行いました。自然あふれる藤本地区らしいウォッチングとなりました。

景観が時間と生活の積み重ねの中で醸成されていくように、景観に関する活動も長期的な視点で求められると感じています。今後も活動を継続し景観活動として景観形成の一助になればと思います。